

熊本日日新聞 読者の広場 若者コーナー

令和2年8月8日掲載

3年1組 山崎 天晴

「毎日英語日記 成長の実感も」

4月、新学期が始まって早々の休校。今年はコロナウイルスの影響で、例年のような学校生活を送れないでいます。テレビをつけると「自粛」の文字が並ぶ日々、そしてその中での学校再開でした。もやもやした思いの中、受験生として何かしていかなければと、再開してから取り組んだものがあります。

私は将来、英語を使った職業に就きたいと考えています。しかし、英語は好きだけど、まだ実力不足だと思っています。そこで、英語担当の先生に相談すると「英語日記を書くといいよ。」とアドバイスをされ、毎日、英語日記を書くことにしました。

始めると分かるのですが、日記を書いていくだけでも悩むのに、その日記を英語にするのはとても難しく、語彙力や文法など足りないことが多いことが分かりました。また、先生からの返信をもらっても、理解するのに時間がかかり、辞書を引いたり、友だちや担任の先生に質問する毎日が続きました。

しかし、ある時から辞書を使わずに読み書きができ、少しずつ成長している実感が湧いてきました。

夏休みに入ると、先生の返信はもらえませんが、毎日欠かさず英語日記を書き、将来の目標である英語を使った職業に向かって日々前進していきたいと思っています。そして3月、笑って卒業できることを願っています。